

## なんでも相談できる町のかかりつけ医

病院の診療科目の細分化が進む今日、症状はあるけど何科にかかれればいいのかわからない、と悩む人も多いのでは。「よしかわ医院」の院長吉川幸伸医師は、どんな症状でもまずは来院して、その後の適切な治療について相談出来る「町のかかりつけ医」のような存在になれたらとの思いで、診療科目を敢えて外科・内科とした間口の広い医院を10月に開院した。吉川院長は、以前勤務し現在も週に一度は診療を行っている呉医療センターで、消化器・甲状腺の専門医として主にがん患者の治療にあたっていたが、術後再発がなければ5〜10年をメドに担当医から「卒業」し、それ以降継続してケアを受けるのが難しいがん患者への長期的なアフターケアの重要性を感じ、期間等の制約無く患者と長く向き合える個人医院の開業に踏み切ったという。呉医療センターとの密接なネットワークによる最先端医療との連携を積極的に活用し、心強いかかりつけ医となってくれそうだ。「気軽になんでも相談して下さい」と吉川院長。

▼よしかわ医院 ☎23・2066 (m)

住 呉市中央1-3-1 光陽ビル2F

診 9時〜12時30分 (土曜は〜14時)

／14時30分〜18時

休 土曜午後、水・日曜、祝日

<http://www.yoshikawa-cl.jp>



アットホームな雰囲気



吉川院長が目指す医療の原点とも言える、母・吉川節さんが開業していた「吉川醫院」の看板が院内に展示されている